

きらめき

学校だより

令和8年度 7月号
京都市立岩倉南小学校
校長 谷村 茂生
TEL 791-3207

第4号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/iwakuraminami-s>



「遊び」＝「遊びは学び」＝「試行錯誤」「協働」 校長 谷村 茂生

今年度の学校教育活動の核の一つとして「遊び」を挙げています。子どもたちは、実は小学校に入学する前から「遊び」を通していろいろな学びを経験してきました。小学校に入学したとたん、机に向かって勉強では、せっかくの経験が生かされなかったり、学びの連続性が失われたりします。

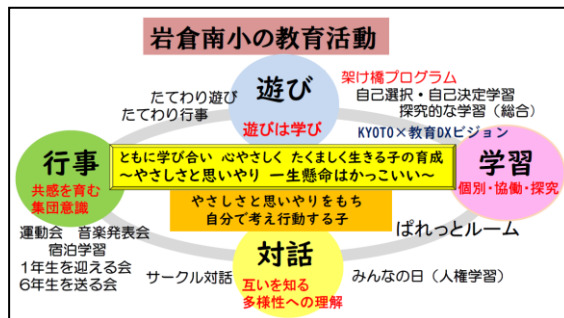
「遊び」を通して育てる力。それは、「創造力」「試行錯誤する力」「主体的に課題を解決する力」「人間関係をつくる力」「様々な人と協働する力」など、非認知能力と呼ばれるたくさん力を育てることができると考えます。

岩倉南小学校では、たてわり活動にも「遊び」の要素を取り入れています。1年生から6年生までの異年齢児童が小グループを編成し、自分たちで楽しめる遊びを考え、実際に遊び、ふり返りをし、次回のたてわり遊びに生かすというサイクルで進めます。

このたてわり活動で、昨年まではこの時期に「たてわり遠足」を実施していました。年度当初の早い時期にグループの仲間と仲良くなるというねらいがありました。しかし今年度は、「たてわり夏祭り」を計画し、ワンステップ学びの段階を上げることにしました。各グループで遊び場を企画し、準備し、夏祭り当日はみんなでいろいろなグループが準備した遊びを楽しみます。この当日までの準備の時間に、たくさんの学びが詰まっています。遊びから学びを進める絶好のチャンスです。

自分たちで、主体的に企画を作り、計画的に準備をします。計画通りにいかなかったり、思惑通りにいかなかったりすると試行錯誤します。そんな中、先月も書きましたが、6年生リーダーたちが実にうまく、下の学年の子どもたちに寄り添いながら活動を進めています。また、リーダーの話に耳をかたむけ、グループのみんなと力を合わせようとする下の学年の子どもたちの姿も素敵です。お互いを理解しようとする姿です。

いろいろな年齢の子どもたちが試行錯誤をしながら協働する。きっと夏祭りを終えた子どもたちは、いろいろな学びを身につけることだろうと想像するだけでワクワクしてきます。



☆ようこそ小学校へ！ 保育園・こども園との交流(架け橋交流)☆

先日、こひつじ保育園・たからこども園・ふうりんこども園の園児との交流活動を行いました。園児たちは、1年生と一緒に遊んだり活動したりしながら、楽しい時間を過ごしました。初めはお互いに少し緊張した様子も見られましたが、すぐに打ち解け、笑顔いっぱいに関わる姿が印象的でした。1年生の子どもたちは、お兄さん・お姉さんとして優しく声をかけたり、活動をリードしたりするなど、頼もしい姿を見せていました。

また、5年生は園児との交流給食を実施し、同じテーブルを囲みました。食事の準備をてきぱきと進め、園児たちを気遣って給食の量の確認をしたり、待ち時間を使って絵本の読み聞かせをしたりと、安心して過ごすことができるように心配りをしている様子が見られました。

本校児童にとっては、相手を思いやりながら関わることの大切さを実感できる機会となりました。活動中、終始あたたかな雰囲気とたくさん笑顔が広がっていました。



☆学校評価アンケートのお願い☆

先日、すぐーるにて学校評価アンケートを配信いたしました。教育活動の改善と発展に向け、現時点でのお子様の様子について回答いただきますようお願いいたします。7月3日(金)を締め切りとしております。